

～【幸せな人生を送るために】～

一年生の保護者の皆様には初めて学校通信をお届けすることになると思います。学校や生徒の様子、頑張った生徒達の紹介、学校運営・教育の方針、保護者の皆様へのご協力の依頼等、その時その時に思っていることをそこはかたく綴っていきこうと思います。可能な限り毎週書いていきたいと思っています。

学校HPにも書いていますが、教師生活30年を超え、私なりに掴んだ真実があります。それは「親の一言は教師の千言に優る」ということです。

どんなに情熱的で、研究熱心で、生徒と多くの時間を共有する先生がいたとしても、その影響力はお父さん、お母さんと比べるべくもありません。(当たり前と言えども当たり前ですが。)

いざ、という時には保護者の皆様にお手伝いをお願いすることがあると思いますが、その際はどうかよろしくお願い致します。

さて、学校は子どもさんを社会的な存在に育て上げることがその存在意義です。決して高校予備校ではありません。

人は無人島で、一人で生きていけない限り、たくさんの人々との関わりの中で生きていかねばなりません。そして、これからの人生で学校や職場で会う人々がすべて自分にとって心地よい存在であることは、99.9%の確率であり得ません。何となく気の合わない人、理由は分からないけど何となく好きになれない人と関わりを持って生きていかねばなりません。

ただ、自分の人生を振り返っても、自分を育ててくれたのは、むしろそうした人々との出会いではなかったかと思っています。

社会的存在とは、平たく言えば、そうした出会いがあってもスムーズに人間関係をつくり、その中でたくましく、幸せに生きていける人だと思います。

～【煙草の吸殻が・・・】～

先日、車を運転し信号停車していました。急いでいたせいか、赤信号の時間がやけに長く感じていました。

そのうち前の車の運転席から、何かがバラまれました。煙草の吸殻です。運転席横の道路には吸殻が散乱しました。とても不快な気持ちになりま



した。ドライブレコーダーに映っているので、警察にとどけようかとも思いましたが、それは控えました。

こうした人たちの人間性を責めているのではありません。ただある考えが足りないのです。単純なことです。

それは自分がやろうとしていること、やったことを自分以外のすべての人がやったらどうなるか、という考え方です。

信号停車のたびにすべての車から吸殻が捨てられたら、瞬く間に道路は汚され、不潔で、車が通るたびにその粉塵が子ども達に浴びせられることになるでしょう。想像しただけでぞっとします。

人が社会的存在として生きるためにはこんな考え方が欠かせないと私は思います。

～【学校が「学び舎」であるために】～

学校でも生徒全員が落ち着いて、集中して、学び、成長するためにきまりがあります。(昨年度から校則検討委員会を発足し、校則に生徒や保護者の意見を取り入れています。)

特に一年生は入学したばかりだから窮屈に感じる人もいるかもしれません。

中には、校則なんて面倒くさい。校則なんて守ってられるか、と思う生徒もいるかもしれません。

しかし、もしそんな生徒がいるなら考えてみてください。自分一人がきまりを守らないなら自分はそれなりに目立って人から注目を浴びるかもしれないが、もし全員がそうになったらどうなるか。

おそらく日常生活と学校生活とのスイッチの切り替えができず、緊張すべき時に緊張できず、集中すべき時に集中できず、国語、社会等、非日常的な「学問」を学ぶことがとても難しくなり、学校は「学び舎」でなくなります。

「学び」が成立するためには、それ相応の環境設定、条件設定が欠かせないのです。

新年度が始まりました。本年度も新型コロナウイルスの影響がまだまだ強く、いろいろな場面で生徒に窮屈な思いをさせることがあるかもしれません。

しかし、期待感を持って登校し、満足感を持って帰宅する。すべての生徒がそういう思いを持つことができるように、職員一同、心一つにして頑張る所存です。保護者の皆様におかれましても、ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

